

AGC

Your Dreams, Our Challenge

低汚染型高耐候性フッ素樹脂塗料クリアー
[打放しコンクリート保護工法]

BONINFLON

完全艶消 低汚染

ボンフロンマットSRクリアー仕上



ボンフロンマットSRクリヤー仕上は、完全艶消塗料で底艶が出ません。

ボンフロンマットSRクリヤーは4種類の特殊骨材の配合により、光が乱反射し艶が消えます。従来の艶消塗料と異なり、横から確認しても完全に艶が消え、今までにない仕上がりになります。

ボンフロンマットSRクリヤー仕上は、完全艶消塗料でありながら、艶有フッ素クリヤー塗料と同じ耐候性を発揮する打放しコンクリート保護工法です。

特徴

- 1 **全く底艶の出ない完全艶消クリヤー仕上**を実現しました。
- 2 高耐候性フッ素樹脂クリヤーにより、**長期にわたりコンクリート素地の保護が可能**です。
- 3 コンクリート素地の**自然な意匠を損なわず、長期にわたって維持**します。
- 4 オール水性一液形塗料による材料構成のため、取り扱いやすく、**作業性・安全性・低公害性に優れています**。
- 5 下塗に浸透型吸水防止材「ボンフロン水性ACガードコート」を使用し、**巣穴、微細クラックからの水の侵入を防止**します。
- 6 **躯体補修跡や模様合わせの材料を用意**しております。
全面補修材：AC下地調整材W
部分補修材：ボンフロン水性GT

低汚染機能(セルフクリーニング機能)

塗膜表面に親水・撥油性を持たせます。晴天時：油成分を含む汚染物質を付着しにくくし、降雨時：雨水が全面的に流下して汚れを押し流すので雨筋ができにくくなります。

イメージ図

従来型

水滴は汚れの上をすべり落ちてしまいます

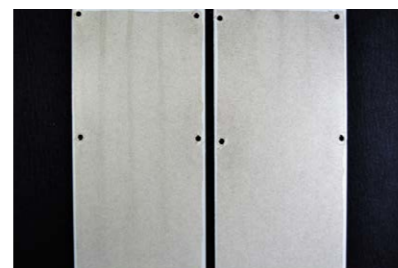
低汚染型

降雨時、水滴が汚れを押し流します

親水性比較(左:従来型 右:低汚染型)



雨筋比較(左:従来型 右:低汚染型)



ボンフロンマットSRクリヤー仕上 標準塗装仕様

塗装箇所：屋内外

適応下地：打放しコンクリート、普通プレキャストコンクリート板、押出成形セメント板

工程	使用材料 ^{注3}	希釈(%)	標準所要量 ^{注1} (kg/m ²)	塗回数	塗装間隔(23℃)	施工方法
下地処理	被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れ等を除去する。ジャンカ・コールドジョイントの下地処理など。					
1	ボンフロン水性ACガードコート ^{注2}	0	0.12~0.18	1	16h以上	ローラー
			0.13~0.20			スプレー
2	ボンフロン水性ACミドルコート	0	0.10~0.15	1	4h以上	ローラー
			0.11~0.17			スプレー
3	ボンフロンマットSRクリヤー	0	0.08~0.12	1	—	ローラー
			0.09~0.13			スプレー

注1) 標準所要量については、各種施工方法の塗着効率を下記として算出しております。

施工種	塗着効率(%)
刷毛・ローラー	80~100
エアレススプレー	60~80

標準所要量を下まわらないでください。

注2)

ボンフロン水性ACガードコートは素地の吸い込み程度により、塗装回数を調節してください。素地の吸い込みが多い場合は2回塗装を行ってください。

注3)

- ①内外部で施工可能ですが、内部施工の場合は十分に換気を行ってください。
- ②各材料は下地に含浸するのに時間がかかりますので塗装間隔は必ず守ってください。
- ③各材料は使用前に必ず電動マゼールで入念に攪拌を行ってください。

注4)

直接降雨が当たる水平面への施工は避けてください。

コンクリート下地の調整

打放し面の著しい色調の差・補修跡などの色調調整が可能です。

【全面調整の場合：AC下地調整材W】

- ボンフロン打放しコンクリート保護工法用の専用下地調整材で、多様な打放しコンクリート面の色調調整に対応できます。
- 水性一液タイプで、特殊合成樹脂バインダーを主成分としており、コンクリートからのエフロの発生を抑制します。

※詳しくは、AC下地調整材Wの説明書をご覧ください。

【部分調整の場合：ボンフロン水性GT】

- 中塗塗装後に模様合わせができます。
- 水性フッ素塗料で模様合わせしますので劣化しません。
- 水性塗料なので、パテイングし易いです。

塗装上の注意

適応下地

- 打放しコンクリート面(塗装合板型枠使用)
普通プレキャストコンクリート版、押出成形セメント板

下地の条件

- 表面含水率10%以下(Kett高周波測定)
- pH=10以下
- 下地の養生期間は、夏季28日以上、冬季35日以上
- 表面の脆弱部分、未硬化のセメント粉化物、エフロ等は、研削、ハツリ、高圧水洗などの方法で十分除去して下さい。尚、除去が不十分な場合、性能不良の原因となります。
- クラック、巣穴等は、セメント系処理材で事前に補修を行なって下さい。
- セメント系以外の材料を使用した場合、十分な性能が得られません。

下地が、上記条件に適合しない場合は、事前に付着等の性能確認試験により、異常の認められない事を確認した上で、施工して下さい。

塗装上の注意

- 各材料は、使用前に必ず電動マゼールで入念に攪拌を行って下さい。
- 各材料は、塗装時乳白色を呈しますが、乾燥すると透明になります。
- 上塗材は、比重の軽い特殊素材を使用している為、塗料は乳白色で、分離している場合があります。必ず電動マゼールで攪拌を行った後、使用してください。また、膜厚が厚くなると白い色ムラが発生するので注意してください。

*AC下地調整材Wが施工されている場合は、吸込みが少なく下塗材がだれる事が予想されますが、仕上がりへの影響はありません。
ボンフロン水性ACガードコートの塗布量が少ないと、塗装仕上がり後の雨染みなどの原因となるため標準所要量、塗装回数を遵守願います。

- 下地補修が必要な場合は、必ずセメント系材料で行なって下さい。
- 必ず本仕様指定の材料を使用し、他の製品は絶対に使用しないで下さい。
- 各材料の所要量並びに塗り回数は、必ず厳守して下さい。不足すると降雨等による水染みの原因となります。
- 各材料は、乾燥すると透明になり、塗装面と未塗装面の区別が付きにくくなりますので、塗り残しには、十分注意して下さい。
- 各工程での乾燥は、十分行なって下さい。乾燥が不十分な場合、仕上がりが悪くなったり、十分な性能が得られない場合があります。
- 本工法は、クリヤー仕上げのため、コンクリート本来の色のバラツキや打放し面の良否は、そのまま現われます。
- 本工法は、躯体上にクリヤー塗膜を形成するため、塗装前の艶や色調と異なる場合があります。
- 塗装器具は、使用後速やかに水洗いを十分行なって下さい。
- 気温5℃以下、湿度85%以上での塗装作業は、避けて下さい。
- 外部塗装で降雨、降雪の恐れがある場合及び強風時の塗装は避けて下さい。

材料の品質管理上の注意

- 低温時の凍結防止など、品質管理上できるだけ屋内に保管して下さい。やむを得ず、屋外に保管する場合は、上床や保護シートカバー等のご配慮をお願い致します。
0度以下の保管では凍結します。
- 詳細な情報が必要な時は、製品安全データシート(SDS)をご参照下さい。

AGC

Your Dreams, Our Challenge



この印刷物は地産地消・輸送マイレージに配慮したライスインキを使用しています。



ルミフロンはAGC(株)の登録商標です。 ボンフロンはAGCコーテック(株)の登録商標です。 2020.9.3000.TOY

AGCコーテック株式会社 <https://www.agccoat-tech.co.jp/>

本社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-9 コンフォール安田ビル5F TEL: 03-5217-5101 FAX: 03-5217-5106
西日本支店 〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田1-1-4 阪急ターミナルビル12F TEL: 06-7663-0695 FAX: 06-7663-0697